

# OPSコントローラ 取扱説明書

2015年 9月 3版

856-129953-001-B

日本電気株式会社  
東京都 港区 芝5-7-1

本装置を安全に正しく使用するために必要な情報が記載されています。本書は、必要なときに参照できるように、お手元において置くようにしてください。本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## 使用上のご注意

本装置を取り扱う前に本書の説明をよくお読みください。本書は大切に保管してください。

## 安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱いしてください。本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重症を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損傷を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図象化したものです。	例: 感電注意
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図象化したものです。	例: 分解禁止
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中や近くの絵表示は、しなければならない行為の内容を図象化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: 電源プラグを抜く

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	<b>確実に固定する</b> 本装置をディスプレイなどのOPSスロットを持つ装置に接続するときには、本体装置の取り付け方法に従い、確実に取り付け付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。	<b>注意</b>

## 本書および警告ラベルで使用される記号とその内容

### 注意の喚起

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		

### 行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触れないでください。感電や火災などの障害のおそれがあります。		火を近づけないでください。発火のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

### 行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な指示を示します。
--	--	--	-------------------

## 安全上のご注意

### 全体的な注意事項

	<b>警告</b>
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	本体装置の警告・注意事項に従う 本装置を使用する際は、必ず接続される本体装置の警告および注意事項に従ってください。
	分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となります。
	煙や臭い、異音が生じたまま使用しない 万が一、煙、臭い、異音などが発生した場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

## 注意

	日本国外で使用しない 本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
	装置内に水や異物を入れない 本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

## 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

	<b>注意</b>
	指定以外の場所に設置・使用・保管しない 本装置を次に示すような場所に置かないでください。火災や故障の原因となるおそれがあります。 ■ ほこりの多い場所。 ■ 給湯器のそばなど湿気の多い場所。 ■ 不安定な場所。 ■ 直射日光が当たる場所。
	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫酸など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント基板が腐食・ショートし、故障および火災の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。
	急激な温度変化環境で開閉または使用しない 本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開閉または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開閉または使用してください。
	電源プラグを差し込んだままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない インターフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触れると感電があります。ショートによる火災を起こしたりすることがあります。
	指定以外のインターフェースケーブルを接続しない インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続については次の注意をお守りください。 ■ 破損したケーブルコネクタを使用しない。 ■ ケーブルを踏まない。 ■ ケーブルの上にものを載せない。 ■ ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。 ■ 破損したケーブルを使用しない。
	確実に固定する 本装置をディスプレイなどのOPSスロットを持つ装置に接続するときには、本体装置の取り付け方法に従い、確実に取り付け付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。
	指定の環境条件で使用・保管する 本装置を使用・保管するときは、次に指定する環境条件を必ずお守りください。指定以外の環境条件で使用すると、誤動作や故障の原因となります。 動作時 温度: 5℃~45℃(本装置の周辺温度) 湿度: 20%~80%(結露していないこと) 保管時 温度: -20℃~60℃ 湿度: 20%~80%(結露していないこと)

## お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

	<b>警告</b>
	分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	リチウム電池を取り外さない 本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
	電源プラグを差し込んだまま取り扱わない お手入れや、本装置の取り付け/取り外しは、本装置および接続機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままでは、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

## 注意

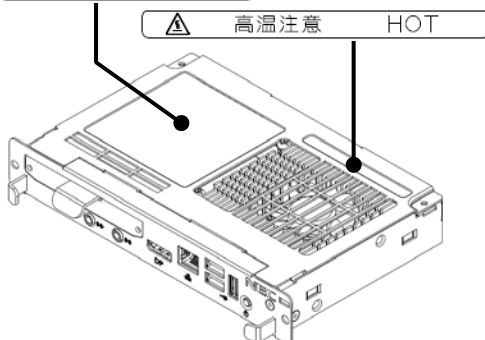
	高温注意 本装置の電源をOFFした直後は、高温になっていることがあります。十分にさめたことを確認してから本装置の取り付け/取り外しを行ってください。
--	---

## 運用中の注意事項

	<b>注意</b>
	雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。
	ペットを近づけない 本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入ると火災や感電の原因となります。
	ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。
	巻き込み注意 本装置の動作中は冷却ファン部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

## 警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本装置を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店にご連絡ください。



## 製品の譲渡と廃棄について

本装置を譲渡または廃棄する際は、ハードディスクドライブ(以下HDD)やソリッドステートドライブ(以下SSD)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されていないようお客様のご責任において確実に処分してください。

- 第三者への譲渡について  
本装置を第三者に譲渡(または売却)するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。
- 消耗品・本体装置の廃棄について  
本装置およびオプション製品などの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。  
本体に搭載されているバッテリーの廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

## 警告

**リチウム電池の取り扱いに注意する**  
本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

## 付属品の確認

本装置の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一定りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

## 航空・海上輸送について

本装置には、リチウム電池(ボタン型)を使用しています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本装置を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

## 取り扱い上のご注意 -本装置を正しく動作させるために-

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因となります。

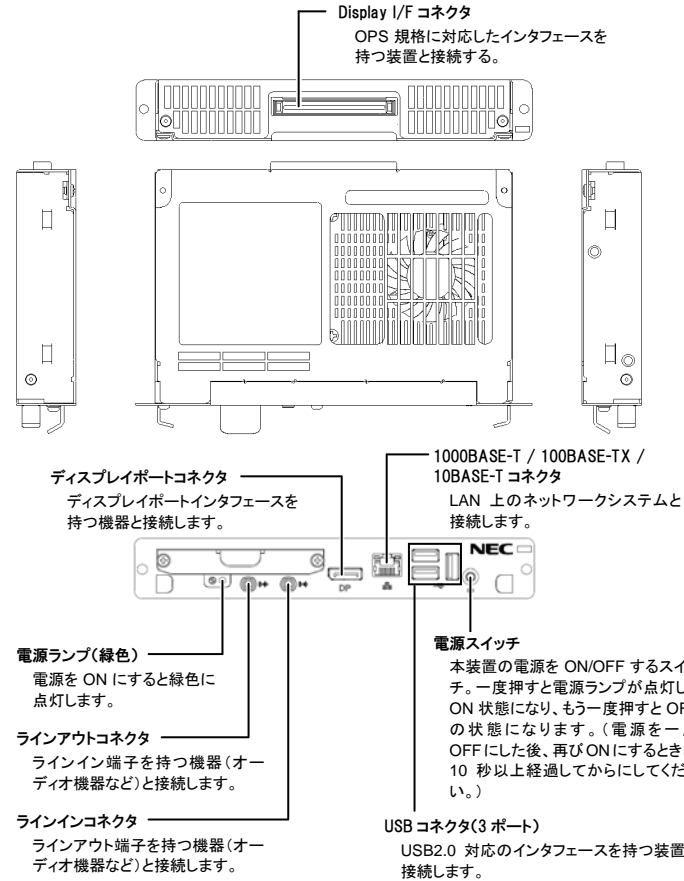
- 本装置の取り付け/取り外しや周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 本装置の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してから行ってください。
- 定期的な本装置を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け接続できても正常に動作しないばかりか、装置本体が故障することがあります。
- お客様による本装置の解体および改造を行った場合は、保証の対象外となります。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。  
- 本装置の輸送後  
- 本装置の保管後  
- 本装置およびディスプレイの動作を保証する環境条件から外れた条件下で休止状態にした後  
システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。
- システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件(温度: -20℃~60℃、湿度: 10%~90%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

● 本装置のそばでは、携帯電話、PHS、タブレット端末などの電源をOFFにしてください。電波による誤動作の原因となります。

## 各部の名称と機能

### 装置外観図



## ディスプレイ取り付けイメージ図

ディスプレイ背面のOPSスロットへの取り付けイメージは次のとおりです。詳しくは、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

